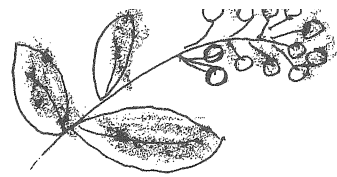


1月の 園便り

28年 新潟青陵幼稚園 園長 加藤 由美子



あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いいたします。
新しい年を迎えると とってもいいことが待っていそうな気がして嬉しいものですね。
心を新たにして前向きに進んでいくことができるように思えて、ちょっと変われそうな
気さえます。

「ちっぽけな私に 認められたくて そんなに跳ぶのか 汗までかいて」(藤田千鶴)
「子育てをうたう」より

この歌の作者「藤田千鶴さん」は、子どもが「みてて、みてて」と汗びっしょりにな
って跳んでいる姿を見ながら、“親に認めてもらいたい子どもの思い”をきちんと受け
止めています。子どもは、大きな愛情をまっすぐに“親”に向けてくれるのですが、親
として、その思いをしっかりと受けとめられているかと反省させられた歌です。
「みてて、みてて」という子どもの言葉にいい加減な返事をして、自分を優先している
ことはないだろうか、見ていて欲しいその大人の視線が、時々違う方へ向いてしまうこ
とを子どもは知っていて、跳びながらも時々大人の目を見て、その目がしっかりと自分
に注がれているかどうか確かめていることがあります。大人の視線を確かめるような
ことをしなくてもいいように、しっかりと子どもに視線を止めて「おしまい」になるま
で見ていてあげたいとつくづくと思いました。また、藤田さんは、母としての自分を“ち
っぽけな”と表現していて、この言葉に感激しました。親は子どもに対して、とかく“上
から目線”になりがちなのですが、藤田さんは傲慢さも思い上がりもない、むしろ自分
自身を顧みて、心を低くしているのですね。「こんな私に、認めてもらいたいと思っ
てくれる」と我が子に感謝することができるって、なんて素晴らしいことでしょう。
幼稚園の子どもたちも「見ててね」と言いながら あやとりを見せてくれたり、縄跳び
を飛んだり、走る姿を見せてくれたりします、こういう子どもたちを目の前にして、藤
田さんのように“私ごときにも、見ていてほしいと言ってくれるなんて、ありがたい”
と感謝することができる保育者としてあらねばならないと思いました。
大人はとかく「子どもがやることを見ているほど私は暇じゃない」とか「忙しくて子
どもの相手になってはいられない」などと、自己中心的に物事を考えてしまうことが多
いのですが、“子どもを一人の人間として尊重する”という大事なことを忘れないよう
にしなければいけませんね。本年も、保育者一同、思いを新たに、子どもの心を大切
にしていきたいと存じます。

28年1月の予定

日	曜	給食	降園時間	行 事
8	金	×	11:30	第3学期始業式
9	土	/	/	第2土曜日
10	日	/	/	
11	月	/	/	成人の日
12	火	×	11:30	餅つきの会です。降園時間がいつもと違いますのでお気を付けください
13	水	○	2:00	給食が始まります。
14	木	○	2:00	
15	金	○	2:00	
16	土	/	/	自由登園はお休みです。
17	日	/	/	
18	月	○	2:00	
19	火	○	2:00	
20	水	×	11:30	誕生会です。1月生まれさんの保護者の方と一緒に祝いましょう
21	木	○	2:00	
22	金	○	2:00	
23	土			第4土曜日
24	日	/	/	
25	月	○	2:00	個人懇談を行います。
26	火	×	11:30	個人懇談を行います。降園時間が早いです、よろしくお願いいたします。
27	水	×	11:30	個人懇談を行います。降園時間が早いです、よろしくお願いいたします。
28	木	○	2:00	
29	金	○	2:00	
30	土	/	/	自由登園はお休みです。
31	日	/	/	

